



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月3日

上場会社名 日本ラッド株式会社  
 コード番号 4736 URL <https://www.nippon-rad.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 大塚 隆一  
 (氏名) 土山 剛  
 TEL 03-5574-7800

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	586	10.3	147		134		138	
2020年3月期第1四半期	654	9.5	55		54		55	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	26.24	
2020年3月期第1四半期	10.42	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	4,155	2,560	61.6	484.42
2020年3月期	4,460	2,723	61.0	515.20

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 2,560百万円 2020年3月期 2,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	5.0	10	90.3	27	74.8	20	75.9	3.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,355,390 株	2020年3月期	5,355,390 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	69,556 株	2020年3月期	69,556 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,285,834 株	2020年3月期1Q	5,285,834 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によるインバウンド需要の消失、企業活動の停滞による経済状況の悪化が加速しました。今後も国内外の経済への影響は予測困難な状況であります。

このような状況の中、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう緊急事態宣言により、在宅勤務、時差出勤等による感染抑制をしながら、事業活動の継続維持に努めてまいりました。営業活動においては、対面による営業自粛を余儀なくされましたが、電話及びWEB会議を活用し、情報収集及び提案活動を行ってまいりました。また、業務の効率化促進のための電子署名・電子契約ソリューション販売における業務提携、新型コロナウイルス感染拡大防止ソリューションの販売を開始するなど今後を見据えたソリューションの提案活動を行ってまいりました。しかしながら、緊急事態宣言における顧客企業の営業自粛、投資予算見直しによる受注の延期、縮小などにより厳しい事業環境で推移いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、5億86百万円（前年同期比10.3%減）となりました。利益面につきましては、営業損失1億47百万円（前年同期は55百万円の損失）、経常損失1億34百万円（前年同期は54百万円の損失）、四半期純損失1億38百万円（前年同期は55百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 「エンタープライズソリューション事業」

各業種向けの派遣常駐型システム開発及び受託請負型システム開発案件において、継続受注の更改は堅調であるものの、納期のずれ及び新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言により、在宅勤務の対応が困難な常駐先により休業及び業務規模縮小を余儀なくされ稼働が減少いたしました。基幹システム及びBIツール関連商品につきましては、納期のずれ及び納品物の不具合対応に想定よりも多くの時間を費やしたことにより、新規の受注対応が困難な状況となりました。その結果、売上高は3億72百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

#### 「IoTインテグレーション事業」

インダストリアルIoT分野及び医療IoT分野においては、予定していた展示会の中止、工場操業停止の影響もあり、新規受注活動が困難な状況でありましたが、既存顧客からの追加案件による受注増により堅調に推移いたしました。医療機関向け自動再来受付システム等の販売・開発につきましては、医療機関におけるシステム稼働予定や商談が延期・中止になったことにより前事業年度に比べ受注減となりました。自動車搭載セキュリティシステムのロイヤリティ収入等は引き続き堅調に推移致しました。その結果、売上高は2億14百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は37億5百万円となり、前事業年度末に比べ3億7百万円減少いたしました。これは主に売掛金が4億2百万円減少し、仕掛品が36百万円増加したことによるものです。固定資産は4億50百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が2百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は41億55百万円となり、前事業年度末に比べ3億5百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は6億18百万円となり、前事業年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。これは主に買掛金が1億18百万円、賞与引当金が43百万円減少しましたが、受注損失引当金が8百万円、その他流動負債が74百万円増加したことによるものです。固定負債は9億76百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円減少いたしました。これは主に長期借入金40百万円減少し、退職給付引当金が6百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は15億95百万円となり、前事業年度末に比べ1億42百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は25億60百万円となり、前事業年度末に比べ1億62百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上および配当金の支払いによる利益剰余金の減少1億65百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.6%（前事業年度末は61.0%）となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して53百万円増加し、31億48百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億25百万円(前年同期比9.7%減)となりました。これは主には売上債権の減少による収入3億93百万円、仕入債務の減少による支出1億18百万円、受取利息及び受取配当金の受取額13百万円、税引前四半期純損失1億34百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、8百万円(前年同期比81.7%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、63百万円(前年同期比4.6%減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出40百万円、配当金の支払いによる支出23百万円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、未定としておりましたが、本日、「2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」を公表いたしました。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,094,925	3,148,488
売掛金	751,617	348,855
製品	980	980
仕掛品	53,852	90,691
原材料	27,009	26,605
その他	84,405	89,767
流動資産合計	4,012,789	3,705,389
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,773	9,428
車両運搬具（純額）	3,681	3,374
工具、器具及び備品（純額）	17,697	19,112
有形固定資産合計	31,153	31,914
無形固定資産		
ソフトウェア	38,382	39,315
その他	22,468	20,523
無形固定資産合計	60,851	59,839
投資その他の資産		
投資有価証券	215,480	218,019
その他	184,903	184,803
貸倒引当金	△44,457	△44,397
投資その他の資産合計	355,926	358,425
固定資産合計	447,930	450,180
資産合計	4,460,720	4,155,570
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	204,416	85,675
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	32,114	8,973
賞与引当金	59,682	16,160
受注損失引当金	21,593	29,719
その他	283,435	357,744
流動負債合計	721,243	618,272
固定負債		
長期借入金	360,000	320,000
退職給付引当金	447,183	453,909
資産除去債務	2,011	2,015
長期未払金	207,018	200,815
固定負債合計	1,016,214	976,739
負債合計	1,737,457	1,595,012

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,480	1,239,480
資本剰余金	973,222	973,222
利益剰余金	529,440	364,307
自己株式	△32,271	△32,271
株主資本合計	2,709,871	2,544,738
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,391	15,819
評価・換算差額等合計	13,391	15,819
純資産合計	2,723,263	2,560,557
負債純資産合計	4,460,720	4,155,570

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	654,444	586,815
売上原価	531,415	577,386
売上総利益	123,028	9,428
販売費及び一般管理費	178,978	157,214
営業損失(△)	△55,949	△147,786
営業外収益		
受取利息	7	1,630
受取配当金	2,155	13,101
受取補償金	1,044	—
その他	367	194
営業外収益合計	3,575	14,925
営業外費用		
支払利息	699	546
為替差損	1,323	941
営業外費用合計	2,023	1,488
経常損失(△)	△54,398	△134,349
特別利益		
新株予約権戻入益	900	—
資産除去債務戻入益	553	—
特別利益合計	1,453	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純損失(△)	△52,945	△134,349
法人税等	2,113	4,355
四半期純損失(△)	△55,058	△138,704



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△52,945	△134,349
減価償却費	8,077	8,507
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	2,797	8,125
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,788	6,725
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,206	△43,522
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△185	△60
受取利息及び受取配当金	△2,163	△14,731
支払利息	669	546
受取補償金	△1,044	—
為替差損益 (△は益)	1,388	942
有形固定資産除却損	0	0
資産除去債務戻入益	△553	—
新株予約権戻入益	△900	—
売上債権の増減額 (△は増加)	315,325	393,323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△75,017	△36,435
仕入債務の増減額 (△は減少)	△53,953	△118,741
その他	67,628	61,891
小計	162,132	132,222
利息及び配当金の受取額	2,163	13,112
利息の支払額	△1,104	△883
補償金の受取額	1,044	—
法人税等の支払額	△24,987	△18,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,247	125,720
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,749	△2,853
無形固定資産の取得による支出	△4,306	△4,941
投資有価証券の取得による支出	△32,949	—
差入保証金の差入による支出	△4,009	—
差入保証金の回収による収入	1,970	—
貸付金の回収による収入	—	283
その他	△649	△650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,693	△8,160
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△42,300	△40,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△297	—
配当金の支払額	△24,095	△23,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,692	△63,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△776	△397
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,084	53,563
現金及び現金同等物の期首残高	3,250,850	3,094,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,277,934	3,148,488

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期累計期間において、新たな追加情報の発生及び前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等についての変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズソ リューション事業	IoTインテグレーシ ョン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	426,382	228,062	654,444	—	654,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,320	4	1,324	△1,324	—
計	427,702	228,066	655,768	△1,324	654,444
セグメント利益又は 損失(△)	82,088	△23,161	58,927	△114,876	△55,949

(注) 1.セグメント利益又は損失の調整額△114,876千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2.セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズソ リューション事業	IoTインテグレーシ ョン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	372,773	214,041	586,815	—	586,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	583	—	583	△583	—
計	373,357	214,041	587,398	△583	586,815
セグメント利益又は 損失(△)	261	△35,447	△35,186	△112,600	△147,786

(注) 1.セグメント利益又は損失の調整額△112,600千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2.セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。